

2019年度 高等部 「職業学習」年間指導計画

1 指導の形態

(1) ねらい(目標)

- 将来の生活について考え、社会の一員として主体的に生活していこうとする意欲と態度を高めることができる。
- 職業生活に必要な教養やビジネスマナー・スキル等を身に付けることができる。
- 演習、体験、実習等を経験し、自分の適性の理解、仕事のやりがい、生活の生きがいなどに基づいた意思決定をすることができる。

(2) 学習の進め方

- 上記のねらいに迫れるように、「職業教養」と「職業演習」に分けて学習を進める。
- 「職業教養」は自分の意見を考えたり友達と意見を交換したりしやすいように教室で行い、「職業演習」は実際の仕事や作業を行いやすいように演習場所で行う。
- 生徒が分かりやすいように、校時表には「職業教養」「職業演習」と示す。
- 毎日、学習の始めに呼吸法(マインドフルネス)を実施する。

呼吸法(マインドフルネス)とは、

自分の身体や気持ちに目を向けたり、心身を落ち着かせたりすることを目的に、高等部において平成29年度より実施している。当校では深呼吸3回と通常呼吸10回を1セットとし、以下の①～③の流れで5分間程度実施している。

- ① Canon(Pachelbel)を流しながら姿勢を整える。
 - ② 深呼吸3回と通常呼吸10回を3セット行う。
 - ③ 生徒同士または教師と「どんな感じがしたか」「気分はどうか」など、振り返りや対話をする
- ※ 教師は、呼吸をしている生徒に呼吸そのものではなく、呼吸をしているときの自分の身体の変化や気持ちを尋ねるとともに各自のペースで取り組むように促す。振り返りでは、生徒の表情や雰囲気に基づき生徒自身の気持ちを認めたり取り組み方へのアドバイスをしたりする。

2 「職業教養」について

(1) 指導内容（育てたい力）

- 調べ学習や体験発表を通して、様々な職種について知る。
- 働く人の思いに触れ、働く喜びや充実感に気付く。
- それぞれの仕事の特性や必要なマナー・スキルを知る。
- 働く大人や社会人の生活にあこがれを抱き、将来の希望をもつ。
- 自分の得意なことや好きなことを知り、具体的な目標をもつ。

(2) 指導方法

- 1～3学年の縦割りグループを5つ編成して学習する。グループは国語や数学の基礎学力、コミュニケーション力、個別の教育的ニーズや進路希望、生徒同士の相性などから総合的に判断し、本人や家族の了解を得る。
- 編成した各グループで年間指導計画を作成する。（別紙）
- 上記の指導内容は、全てのグループが網羅して行うものではなく、各グループで適切に選択したり焦点化したりする。また、自立活動の指導内容を行うグループもある。

(3) 指導の展開に当たっての留意点

- 衣食住や余暇活動など職業生活や日中生活を支える活動については「家庭・社会生活」との関連を図る。
- 校内・現場実習の事前事後指導は、学級を基本とするが、礼状書きは「職業教養」で行う。暑中見舞いや年賀状は各学級担任と連携を図る。
- ドリルなどの繰り返し学習は朝学習の時間に行う。

(4) 目標設定及び評価の方法

- 長期目標は、グループ担当者が学級担任と相談し、下記から選択する。短期目標は、前後期の学習内容を盛り込んで長期目標を具体化する。

- | |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"><input type="checkbox"/> 現在及び将来の生活に身近な事柄を学び、自分の適性について考えることができる<input type="checkbox"/> 現在及び将来の生活に身近な事柄を学び、自分の得意・不得意を知ることができる<input type="checkbox"/> 現在及び将来の生活に身近な事柄を学び、好きなこと・得意なことを増やすことができる<input type="checkbox"/> 現在及び将来の生活に身近な事柄を学び、好きなこと・得意なことに取り組むことができる |
|--|

- 評価は、毎回の授業の様子やプリント等を基に、生徒の育ちと効果的な支援を個別の指導計画に記載し、保護者に伝える。

3 「職業演習」について

(1) 指導内容（育てたい力）

- 実際の作業や仕事を通して、働く喜びや充実感をもつ。
- 年間を通して製品作りや販売活動、サービス業務を行い、労働習慣、対人関係、作業能力、作業態度の向上を図る。

(2) 指導方法

① 職業班について

- 当校では、工程や仕事の分かりやすさ、分担しやすさ、安全性などが生徒に適していることを前提に「佐渡の伝統を取り入れること」「企業の業務や福祉施設の作業に結び付くこと」「お客様に喜んでもらえるもの」「材料や用具が整えやすく、既存の校内環境で行えること」の観点から下記の6つの職業班を編成している。

軽作業（裂き織り）班 軽作業（しおり・はがき）班 食品サービス班 薪班 農耕班 環境改善班

- 各職業班で年間指導計画を作成する。（別紙）

② 班の所属について

- 各職業班とも1～3学年の縦割りグループで編成する。本人の希望、職業種の特徴と本人の適性とのマッチング等から総合的に判断し、本人や家族の了解を得る。その際の手順は下記のとおりである。

ア) 1学年4月 全ての職業班を体験

イ) 1学年5月 希望調査、個人面談を経て所属班を決定

ウ) 原則として3年間同じ班に所属するが、個人面談等を通して必要と判断した場合はこの限りではない。また、「職業技能検定（清掃部門）」への参加を希望する生徒は、計画的に環境改善班で学習を行う。

③ 今後の課題

- 上記の指導内容の達成に迫るとともに、生徒一人一人の将来の職業生活に結び付く学びをするために、次の3点が課題である。
 - ・各職業班で仕事の特徴を明確にし、育てたい力の重点化、具体化を図ること
 - ・現場実習先の仕事を参考に、各班で職業種を超えた仕事内容に意図的・計画的に取り組めるようにすること
 - ・各職業班の評価規準、判断基準を設定すること

(3) 指導の展開に当たっての留意点

- 将来を見据え、環境構成や支援具・補助具の工夫を図り、人的支援を減らす。
- 製品づくりや販売活動だけを重視することなく、それらを通して勤労観や職業観の形成を目指す。
- 安全・衛生管理、服装・身だしなみ、挨拶・言葉遣いなど、教師が働く大人の見本となる。
- 学級担任、職業班担当、進路指導部で、支援の経過、校内・現場実習の様子、進路希望などの生徒一人一人の情報を共有し、家庭や新星学園担当者等との連携を図る。
- 企業や福祉施設などの関係機関との連携を図り、積極的に学校での取組を紹介するとともに、支援の参考にする。
- 「職業技能検定（清掃部門）」については所属班に関わらず、学部全体で「職業演習」との関連を図りながら計画的に取り組む。

(4) 目標設定及び評価の方法

- 長期目標は、グループ担当者が学級担任と相談し、下記から選択し組み合わせる。短期目標は、前後期の学習内容を盛り込んで長期目標を具体化する。

目標達成を目指し、
 目的をもち、
 働く経験をし、

<input type="checkbox"/> 正しい手順で	<input type="checkbox"/> 安全を意識して	<input type="checkbox"/> 仕上がりを意識して
<input type="checkbox"/> 出来高を意識して	<input type="checkbox"/> 時間や効率を意識して	<input type="checkbox"/> 一定時間、継続して
<input type="checkbox"/> お客様の立場に立って	<input type="checkbox"/> 友達と協力して	<input type="checkbox"/> 工夫して
<input type="checkbox"/> 友達や教師と一緒に	<input type="checkbox"/> ルールやマナーを守って	

取り組むことができる

- 評価は、毎回の授業の様子やプリント等を基に、生徒の育ちと効果的な支援を個別の指導計画に記載し、保護者に伝える。

*参考資料：「就労移行支援のためのチェックリスト（独立行政法人高齢・障害者雇用支援機構）」より抜粋

労働習慣	1	健康状態	健康に気を付け、良好な体調を保つことができる。
	2	身だしなみ	場に応じた服装を考えたり、清潔な服装に気を付けたりするなど身だしなみに気を付けることができる。
	3	規則の遵守	規則や決められたことを守ることができる。
	4	危険への対処	危険だと教えられたことをせずに自分や周囲の人の安全を考えて行動することができる。
	5	出席状況	正当な理由（通院、病気、電車の遅れ等）以外の遅刻・早退・欠席はない。
対人関係	1	挨拶・返事	相手に応じた挨拶・返事ができる。
	2	会話	会話に参加し、会話を楽しむことができる。
	3	意思表示	自分の意思（参加したい・トイレ休憩をとりたい、助けてほしい等）を相手に伝えることができる。
	4	情緒の安定	感情のコントロールができる。
	5	協調性	周囲の人と力を合わせたり助け合ったりすることができる。
作業能力	1	体力	1日（7～8時間）を通して作業ができる体力がある。
	2	指示内容の遵守	指示どおりに作業をする。
	3	機器・道具の使用	作業機器や道具類を教えられたとおりに正しく使える。
	4	正確性	ミスなく正確に作業することができる。
	5	器用さ	自分で工夫して作業することができる。
	6	作業速度	必要とされる速度で作業することができる。
	7	作業変化への対応	作業の内容、手順等の変化に対応できる。
作業態度	1	就労意欲	働く意欲がある。
	2	報告・連絡・相談	必要なときに適切な報告（作業の終了、失敗等）・連絡・相談ができる。
	3	時間の遵守	開始時間等を守ることができる。
	4	積極性	作業に自分から積極的に取り組むことができる。
	5	集中力	作業への集中力がある。
	6	責任感	与えられた役割・分担を最後までやることができる。
	7	整理整頓	教室や作業場等の整理整頓をすることができる。

<環境改善班（含 職業技能検定）>

（１）仕事の特徴から重点的に育てたい力

- ◎仕事の喜びや充実感を感じるとともに、自分の適性や課題を考える力。 ※全班共通
- 用具を正しく使い、指示通りの手順で作業する力。
- 時間を意識し、必要とされる速度で作業する力。
- 周囲の人と役割を分担し、協力する力。

（２）年間指導計画 は技能検定に関わる題材

月	題材と題材目標	指導内容	指導方法（支援の構想）
4	「清掃サービス」 ○働く喜びや充実感を味わうことができる。 ○用具を正しく使い、手順を守って清掃することができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・清掃の心構え、ルールとマナー ・用具の名称と使い方（シダぼうき、自在ぼうき、文化ちりとり、掃除機、スクイジー、モップ、ダスタークロス、雑巾） ・職場での言葉遣い 	<ul style="list-style-type: none"> ・「上級生の見本や教師の実演を見る→実際に用具を使って体験する」の流れで行う。 ・サービスについて気付けるように、手順、ルール、マナーについて話合いの場を設ける。 ・班の友達と適切にコミュニケーションがとれるように、レクリエーションを取り入れる。
5 6	「技能検定練習②」 ○技能検定に挑戦しようとする意欲を高める。 ○正確さ、丁寧さ、速さ等の技能規準を知り、友達と一緒に取り組むことができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・検定評価票に沿った技能規準と手順（自在ぼうき、ダスタークロス、モップ、掃除機） ・正確さ、丁寧さ、速さ <p>※週1～2日 ※他の職業班で検定参加を希望する生徒も含む。 ※前年度希望者だけでなく、全員にアンケートを実施する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・模範映像を見ながら技能規準や手順を学べるようにする。 ・個人練習の時間や友達からの評価を受ける機会を設定する。 ・一人一人の学び方から、全体を通した練習と課題部分を取り上げた練習をする生徒に分ける。 ・「校内検定」に向けて課題を意識できるように、自分の映像を見て振り返る時間を設ける。 ・外部講師による指導の機会を設ける。 ・「生徒一人一人の様子を知る会」「障害者雇用の理解を進める会（隔年）」を設け、企業や福祉関係者から評価をもらう機会を設ける。

7	<p>「技能検定練習③」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○技能検定に挑戦しようとする意欲を高める。 ○自分の目標をもち、検定合格を目指して取り組むことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・目標設定と課題意識 <p>※週2～3日 ※検定（佐渡会場）H30.8.3</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「控え室→検定会場→控え室」の一連の動きを繰り返すようにする。 ・当日に向けて意識を高められるよう、目標を言葉にしたり友達と評価し合ったりする。
9	<p>「技能検定 表彰・オリエンテーション」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○学習の成果を発表する。 ○検定について知ることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・検定の表彰と模範実技 	<ul style="list-style-type: none"> ・朝会で検定の表彰と感想発表の場を設ける。 ・プレゼンテーションによる検定の説明を聞いたたり生徒の模範実技を見たりする場を用意する。
通年	<p>「校内清掃」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○働く喜びや充実感を味わうことができる。 ○用具を正しく使い、手順を守って清掃することができる。 ○チームで話し合い、時間内に清掃することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・身支度、挨拶、会釈、言葉遣い ・奉仕の精神 ・役割の遂行と責任感 ・自己点検とチーム点検 ・振り返り 	<ul style="list-style-type: none"> ・場所に応じた用具の使い方を知るとともに、そのコツが分かるように各自が工夫した所を発表し合う場を設ける。 ・協力して仕事ができるように、教師が仲立ちをしながら自分たちで役割分担をし、チームで点検と振り返りをするを促す。 ・時間や校内の人を意識した行動を称賛する。 ・働く喜びや充実感を感じられるよう積極的に「ありがとう」の声を掛ける。

10	<p>「文化祭サービス」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○働く喜びや充実感を味わうことができる。 ○身だしなみ、笑顔、言葉遣い等を意識して取り組むことができる。 ○チームで協力してお客様の対応をすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・接客の心構え ・安全、衛生管理 ・笑顔、身だしなみ、声のトーン ・お客様を意識した状況判断 ・PCを使用したポップ制作 ・食事場所と休憩所の設営・運営 ・スーパーや介護での実習内容 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の経験を生かして、気持ちのよい接客について考えるようにする。 ・現場実習の経験を基に「接客八大用語」の唱和を取り入れる。 ・お客様を意識した工夫や、状況を考えた行動を称賛する。 ・チームで対応できるように「やまびこ」の取組を推奨する。 ・文字の大きさ・フォント・色、文字や背景の色などを工夫できるように働き掛ける。 ・現場実習で経験した仕事を話したり、接客との共通点を探したりする活動を取り入れる。 ・「生徒一人一人の様子を知る会」を設け、企業や福祉関係者から評価をもらう機会を設ける。
通年	<p>「校外清掃」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○働く喜びや充実感を味わうことができる。 ○用具を正しく使い、手順を守って清掃することができる。 ○チームで話し合い、役割を分担して清掃することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・身支度、挨拶、会釈、言葉遣い ・奉仕の精神 ・役割の遂行と責任感 ・自己点検とチーム点検 ・振り返り 	<ul style="list-style-type: none"> ・場所に応じた用具の使い方を知るとともに、そのコツが分かるように各自が工夫した所を発表し合う場を設ける。 ・協力して仕事ができるように、教師が仲立ちをしながら自分たちで役割分担をし、チームで点検と振り返りをすることを促す。 ・時間や地域の方を意識した行動を称賛する。 ・働く喜びや充実感を感じられるよう積極的に「ありがとう」の声を掛ける。

<p>1 2 3</p>	<p>「技能検定練習①」</p> <p>○技能検定に挑戦しようとする意欲を高める。</p> <p>○技能規準と手順を知り、挑戦する種目を決めることができる。</p>	<p>・検定評価票に沿った技能規準と手順</p> <p>・正確さ、丁寧さ、速さ</p> <p>・種目決定</p> <p>※週1～2日</p>	<p>・清掃の仕事の特徴や先輩の頑張りなどを話す。</p> <p>・プレゼンテーションで当日までの予定を示す。</p> <p>・「上級生の見本や教師の実演を見る→実際に用具を使って体験する」の流れで行う。</p> <p>・全種目の体験と振り返りを積み重ね、参加種目を決められるようにする。</p>
----------------------	--	--	--